

令和7年度第1回広島市環境審議会 議事要旨

1 日時

令和7年9月3日（水）午後2時～午後4時

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

(1) 委員

西嶋 渉（会長）、田中 貴宏（副会長）、岩崎 翔太、大田 ナツミ、沖村 理史、奥野 泰識、小迫 敏彦、鉄村 忠基、土井 徹、徳本 博志、中西 伸介、縄手 淳子、水口 弘士、村田 和賀代、吉田 悦子（以上15名）

(2) 事務局（市）

環境局長、環境局次長、環境政策課長、温暖化対策課長、環境保全課長、業務第一課長、農政課長、農政課鳥獣対策担当課長、農林整備課森づくり担当課長、緑政課長、緑政課花と緑の施策担当課長

4 次第

(1) 開会

(2) 局長挨拶

(3) 委員の紹介

(4) 会長・副会長の選任

(5) 議事

報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況について

報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和6年度）について

議題 第4次広島市環境基本計画の骨子案について

(6) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

○ 令和7年度第1回広島市環境審議会 次第

○ 令和7年度第1回広島市環境審議会 配席表

○ 広島市環境審議会委員名簿

○ （報告1）第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況について

○ （報告2）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和6年度）について

○ （参考資料1）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況一覧表

○ （参考資料2）市域の温室効果ガス排出量（令和4年度確定値及び令和5年度速報値）

- （参考資料 3）報道資料
- （議事資料）第 4 次広島市環境基本計画（骨子案）

8 議事要旨

発言者	発言要旨
司会	・ 本日は委員改選後初めての開催となるため、当審議会の会長・副会長の選任についてお諮りする。
	（委員の互選により、会長に西嶋委員が、副会長に田中委員が、それぞれ選任された。）
西嶋会長	・ 「（報告 1）第 3 次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況について」及び「（報告 2）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和 6 年度）について」、事務局から説明をお願いする。
環境政策課長	【報告 1 第 3 次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況について説明】
温暖化対策課長	【報告 2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和 6 年度）について説明】
西嶋会長	・ 事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
岩崎委員	・ 報告 2 の参考資料 1 の事業番号 71 は、「ISO14001」や「エコアクション 21」のシステム導入に関する資金融資なのか、第三者認証の取得に関する資金融資なのか。 ・ また、事業番号 177 は、先ほどの説明を聞いてすごく良い取組だと感じた。この事業は、プレスリリース以外の広報をされているのか。広報に力を入れてもらいたい。
温暖化対策課長	・ 参考資料 1 の事業番号 71 は、導入に係る費用の融資となる。事業活動により生じる公害の防止施設等の設置に加え、環境対策に取り組む市内中小企業を対象に支援する融資となっており、エコアクション 21 や ISO14001 導入の審査やコンサルティングを受ける際に利用できるような融資となっている。 ・ 事業番号 177 の清掃工場の余剰電力の活用は、今から本格的に広報できるような準備をしているところである。
岩崎委員	・ 参考資料 1 の事業番号 71 の融資利用事業者数が 0 件となっている。私の勤務先でも導入を検討したことがあるが、なかなか難しい状況である。需要はあると思うが、融資利用事業者数が 0 件の原因は何が考えられるか。
温暖化対策課長	・ ISO14001 の取得や更新に費用や手間がかかることが考えられる。ISO14001 を簡素化・明確化したものがエコアクション 21 なので、こちらを企業に活用していただけるよう、更なる PR をしていきたい。
村田委員	・ 報告 1 別添の項目番号 5 の森林ボランティア活動者数が令和 4 年度に多くなっている理由は何か。この年に何か特別なイベントを開催したのか。
農林整備課森づくり担当課長	・ 要因の 1 つとして、コロナ禍が挙げられる。「森の市」は広島市森林公園で開催しているイベントである。令和 4 年度はコロナ禍にあり、密を避けるため、

発言者	発言要旨
	閉鎖空間でない森林公園に多くの方が集まったのではないかと考える。イベントの内容は例年大きく変わらないが、より多くの方に楽しんでもいただけるよう、少しずつ見直しを行っている。
村田委員	・ 今後も多くの方が楽しめるイベントを企画してもらいたい。
土井委員	・ 報告 1 別添の項目番号 41 の要因に「てまえどり運動」とあるが、どのような取組か。
環境政策課長	・ スーパーマーケットやコンビニエンスストアでは、賞味期限・消費期限が短い商品は商品棚の手前側に置かれていることから、すぐに食べるのであれば手前から取って、小売店から出る食品ロスを削減しましょうという取組である。「てまえどり」のポップが商品棚に掲示されているので、是非確認してほしい。
大田委員	・ 生協のお店でも、「てまえどり」を推進している。市で、「てまえどり」のマスコットを作ってもらったら、更なる周知が図れるのではないかと思いますので、よろしくお願いいたします。
環境政策課長	・ 市では、スーパーマーケット等事業者にごみ減量・リサイクル実行委員会に入っていただき、その実行委員会で「てまえどり」のポップを作成・配布し、店舗等で掲示していただいている。今後も食品ロスの削減に向けて、事業者と一体となり、「てまえどり運動」を推進していきたい。
大田委員	・ 市内共通のかわいい鳥のマスコットを考えてもらいたい。
中西委員	・ 報告 1 別添の項目番号 47 の救急搬送熱中症患者数を、事業所と家庭の発生場所ごとに分けることはできるか。事業者に対しては、今年 6 月に職場における熱中症対策強化が義務化されて、罰則付きのものになったので、対策を進めていかなければならない状況である。家庭では、電気料金の高騰に伴い、冷房使用を控えたり、一人暮らしで熱中症になっても救急搬送の連絡が間に合わなかったりという事例がある。事業者と家庭それぞれへの対策はどのようなものがあるか。
温暖化対策課長	・ 救急搬送熱中症患者の発生場所の内訳は、手元にないのでわからない。熱中症対策としては、今年の夏に合わせて、熱中症対策啓発映像を作り、多くの方に見ていただけるよう映画館や街中の大型ビジョン等で流すなど、広報に力を入れている。また、健康福祉局と連携しながら、クーリングシェルターという取組を進めている。熱中症特別警戒アラートが出ないとシェルターとしての位置付けとはならないが、民間事業者や市の施設に協力していただき、民間で 117 施設、市有施設で 113 施設、市内合計で 230 施設をクーリングシェルターに指定している。熱中症特別警戒アラートではない熱中症警戒アラートの段階でも、体調が悪くなったら、気軽に利用していただくよう、取組を徐々に広げている。
中西委員	・ 消防局で発生場所の内訳を把握していると思うので、データを共有して、今後の対策の参考としてほしい。 ・ クーリングシェルターについては、広く利用してもらえるよう広報をしっか

発言者	発言要旨
	りしてほしい。
水口委員	報告1別添の42は、最終処分場で埋め立てられる量を減らすということか。それとも広島市内から出る産業廃棄物を減らすということか。最終処分場に埋め立てられる産業廃棄物には県外で排出されたものもあるが、それも含まれるのか。
業務第一課長	産業廃棄物の計画について詳細は存じ上げないが、同じ業務部として回答する。計画は、広島市の事業所から排出された産業廃棄物の総処理量をいかにコントロールしていくかという計画である。この指標は、最終処分場でどれだけ処分されたかという数値を把握するものであるが、昨年度は調査ができなかったので、今年度実施予定と伺っている。
西嶋会長	この件については担当課に確認をしてもらいたい。市内の事業者が排出した産業廃棄物が市外で埋め立てられることも、その逆もある。どの数字をこの指標に用いているのかで、意味合いが変わってくる。
縄手委員	先日、スーパーマーケットでゴミ減らそうデーの手伝いをし、来店客にアンケートを行った。アンケートに回答した来店客に聞くと、過剰包装が多いとの意見があった。行政から企業に働きかけをしてもらいたい。
環境政策課長	ゴミ減らそうデーに御協力いただき感謝する。過剰包装の抑制については、先ほど御説明したゴミ減量・リサイクル実行委員会にて取り組んでいるところであり、引き続き取組を進めていきたい。食品メーカー等への働きかけは、小売店等を通じて行っていければと思っている。今後、実行委員会の中で話をしていきたい。
田中副会長	報告1別添の47の要因に、気温の上昇に合わせて熱中症救急搬送患者が増えているとあるが、実際のデータでもそのようになっているのか。
温暖化対策課長	データを確認したところ、確かにそのようになっており、35度を超えると搬送者数が2桁を超えていた。ただ、搬送者数は7月後半から8月上旬がピークで、それを過ぎると、気温は高くなったとしても搬送者数は減っていた。暑さに慣れたことが要因ではないかと考える。
田中副会長	夏の初めのほうが熱中症の危険が高いということか。
温暖化対策課長	そのようである。
田中副会長	夏の初めにかけて集中的に啓発をしたほうがいい。
温暖化対策課長	気温の上昇に合わせて積極的に広報をしていくことが必要と考えている。
小迫委員	- 報告1別添の12について、昨日も安佐北区でクマ出沒のニュースを見た。私の住んでいる地区ではアナグマが出沒する。市のほうで何か対策はしているのか。 - 報告1別添の5の森林ボランティアは、山で活動するため、クマや猿に出くわす可能性がある。森林ボランティアの活動時の安全対策はどのようなものか。最近のクマは鈴の音に慣れていると聞いたことがある。
農政課鳥獣対策	当課は野生鳥獣の保護と管理を担っている。この管理とは個体数調整をする

発言者	発言要旨
担当課長	ということである。本市では、猟友会に推薦をしてもらった方々で有害鳥獣駆除班という組織を形成し、有害鳥獣の捕獲をしていただいている。昨年度は小動物を含めて年間で約 3,700 頭捕獲しているが、これは「管理」の一環として、被害を及ぼす野生鳥獣を捕獲しているものである。
農林整備課森づくり担当課長	森林ボランティアはクマのリスクだけでなく、作業にのこぎりを使うことからけがのリスク、マダニのリスクなど様々ある。講習会を通じて森林ボランティアや山登りをされる方等に、これらのリスクに対する啓発に努めているところである。なお、県内のクマにはまだ鈴の効果があると聞いている。
農政課鳥獣対策担当課長	クマ対策について補足だが、鈴よりも、音が鳴り続けるラジオがいいと思う。また、御心配であればクマ撃退スプレーも検討してほしい。
中西委員	- 報告 2 の「3 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況」の「新築の集合住宅の ZEH-M 化」は、計画改定時に比べて令和 6 年度実績の数値が大きく上がっているが、なぜか。参考資料 1 の 188 の ZEH-M 建築補助の補助金交付決定数が前年度比で 3 倍ほどになっており、これが有効な施策だったということだと理解しているがどうか。 - 参考資料 1 の 188 と同様の施策が戸建てに対してもあれば、報告 2 の「3 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況」の「新築の戸建住宅の ZEH 化」の実績ももっと伸びるのではないか。
温暖化対策課長	- 委員御指摘のとおり、ZEH-M 建築補助が令和 6 年度実績に反映したものと考ええる。また、マンションは、事業者側で、付加価値を付けた ZEH-M 化の動きが進んでいることも、令和 6 年度実績の数値が大きく上がった要因である。 - 今後は、戸建ての ZEH 化が進むよう、何か新しい施策を打ち出そうと検討しているところである。
西嶋会長	- 他に御質問はないか。 - ないようなので、「第 4 次広島市環境基本計画の骨子案について」事務局から説明をお願いする。
環境政策課長	【第 4 次広島市環境基本計画の骨子案について説明】
西嶋会長	事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
沖村委員	環境基本計画には、1 の「(3) 計画の位置付け」に記載されている法律以外にも様々な法律や国の計画が絡んでくる。例えば、エネルギー基本計画や循環型社会形成推進基本計画等が挙げられる。今後、素案作成に当たって、環境基本計画に関連する様々な法律や国の計画をどのように書き込んでいくのか。
環境政策課長	関連する法律や国の計画をすべて第 4 次計画に書き込んでいくのは難しい部分があると思う。本市の実情を鑑みながら、今後素案を作成するときに検討したい。
土井委員	2 の「(2) 環境像を実現するための基本目標」の 4 段落目の最後に、「環境の保全及び創造につながる具体的な行動に結びつけることが不可欠である。」と書かれている。確かにそのとおりであるが、行動を変えることは簡単なこと

発言者	発言要旨
	ではない。ナッジ理論を活用した環境問題の取組が少し前から広がりを見せており、第4次計画に反映できたらいいと思う。基本目標5の達成に向けた施策の方針の中でナッジ理論が加味されると、より施策の効果が上がるのではないかと考える。
環境政策課長	・ 御意見を踏まえながら、素案作成を進めたい。
水口委員	・ 安佐北区には太田川と三篠川が流れており、漁協がアユを地域の資源として守っているが、近年カワウが多く繁殖しており、魚が減ってきた印象を受ける。広島市はカワウに対してどのような取組を行っているか。
環境政策課長	・ 本日、水産部門の職員が出席していないので回答しかねる。
岩崎委員	・ 3の「総合的・横断的視点」に4つ掲げられているが、第3次計画ではこれに加えて「人材等の基盤確保及び協働の視点」があった。「人材等の基盤確保及び協働の視点」は基本目標5に組み込まれたのではないかと思うが、いかがか。
環境政策課長	・ 御指摘のとおりである。
岩崎委員	・ 第3次計画の総合的・横断的視点には「協働」というワードが入っていた。市民や事業者との協働は重要だと思うので、第4次計画においても協働を入れてもらいたい。
田中副会長	・ 第3次計画の基本目標の「地球環境の保全への貢献」が、第4次計画では「脱炭素社会の構築」に代わると理解した。第3次計画の基本目標の「地球環境の保全への貢献」達成に向けた施策の方針にオゾン層の保護や酸性雨対策があったが、これらも第4次計画では「脱炭素社会の構築」に含まれることになるのか。
環境政策課長	・ 従来、地球環境問題として、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨が挙げていたが、近年、地球温暖化や気候変動が喫緊の課題となってきたことから、第4次計画ではこれらの課題への対応を地球環境から抜き出すような形で、基本目標として掲げることとした。一方で、オゾン層破壊や酸性雨は、今後も引き続きモニタリングをしていくことになるが、以前言われていたほど問題となっていない状況である。オゾン層破壊に関しては、「脱炭素社会の構築」に向けた施策の方針の中で、代替フロン対策として触れることになると考えている。酸性雨は、記載するかどうか検討している。
田中副会長	・ 脱炭素を前面に押し出すということは理解している。一方で、適応も含めて、計画から漏れてしまうものがないように配慮してもらいたい。適応も、拡大解釈すればいいと思うが、厳密にいうと合わない部分があると思う。
西嶋会長	・ 重点的に取り組むところと、カバーすべきところと、バランスをとってもらいたい。
小迫委員	・ ごみの減量やリサイクルの推進は喫緊の課題だと思うので、ゼロエミッションシティ広島の実現に向けてしっかりやってもらいたい。
西嶋会長	・ 生物多様性は非常に重要なテーマである。第3次計画の生物多様性に関する指標に「絶滅のおそれのあるもの」があるが、平成18年の数値からずっと更新

発言者	発言要旨
	されていない。そろそろ、広島市の生物多様性の状況をどうやって把握するかを考えないといけないのではないか。この指標以外にも、国の調査が未実施との理由で数値が取れていないものがあるので、この機会に、市独自で把握することを検討してほしい。
西嶋会長	・ 他に御質問等ないか。ないようであれば、事務局は、本日の委員の皆様からの御意見を踏まえて、素案の作成に当たってもらいたい。 ・ 本日予定していた議事については、これで終了する。